
調布市
子ども・若者支援に関するニーズ調査
結果報告書
【概要版】



令和6年3月
調布市

目次

I 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査対象及び調査方法.....	1
3. 配布数及び回収結果.....	1
4. 本調査の基本的な事項.....	1
II 子ども・若者支援に関するニーズ調査【中学・高校生世代】.....	2
1. 人とのつながりについて.....	2
2. 他者との関わりについて.....	3
3. ふだんの外出の状況について.....	4
4. 落ち込んだ経験について.....	5
5. ヤングケアラーについて.....	6
6. 日常生活について.....	6
7. 調布市子ども条例及び子どもの権利について.....	7
8. 将来の希望について.....	8
III 子ども・若者支援に関するニーズ調査【高校卒業年代～39歳】.....	10
1. 人とのつながりについて.....	10
2. 普段の活動について.....	11
3. 普段の外出の状況について.....	13
4. 日常生活等を円滑に送ることができなかった経験について.....	13
5. 地域活動への参画について.....	14
6. 結婚・子育てに関するイメージについて.....	15
7. 現在の悩みや調布市に必要な取組について.....	17

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「第三期調布っ子すこやかプラン」（計画期間：令和7年度から令和11年度まで）を策定するにあたり、より多くの子ども・若者の現状やニーズを把握した上で、子ども・若者支援施策を推進するために実施した。

2. 調査対象及び調査方法

項目	今回調査		前回調査
調査対象	中学生・高校生世代の市民	高校卒業年代から39歳までの市民	13歳から39歳までの市民
配布数	2,000	2,000	2,000
抽出方法	無作為抽出	無作為抽出	無作為抽出
調査方法	郵送法・Web	郵送法・Web	郵送法
調査時期	令和5年12月～令和6年1月	令和5年12月～令和6年1月	平成31年2月～平成31年3月
調査地域	調布市全域	調布市全域	調布市全域

3. 配布数及び回収結果

項目	今回調査		前回調査
有効配布数	2,000	2,000	1,981
有効回収数	紙による回答：362 web回答：366 (合計：728)	紙による回答：193 web回答：283 (合計：476)	552
有効回収率	紙による回答：18.1% web回答：18.3% (合計：36.4%)	紙による回答：9.65% web回答：14.15% (合計：23.8%)	27.9%

4. 本調査の基本的な事項

数値の基本的な取り扱いについて

- 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出している。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問である。従って、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。

Ⅱ 子ども・若者支援に関するニーズ調査【中学・高校生世代】

1. 人とのつながりについて

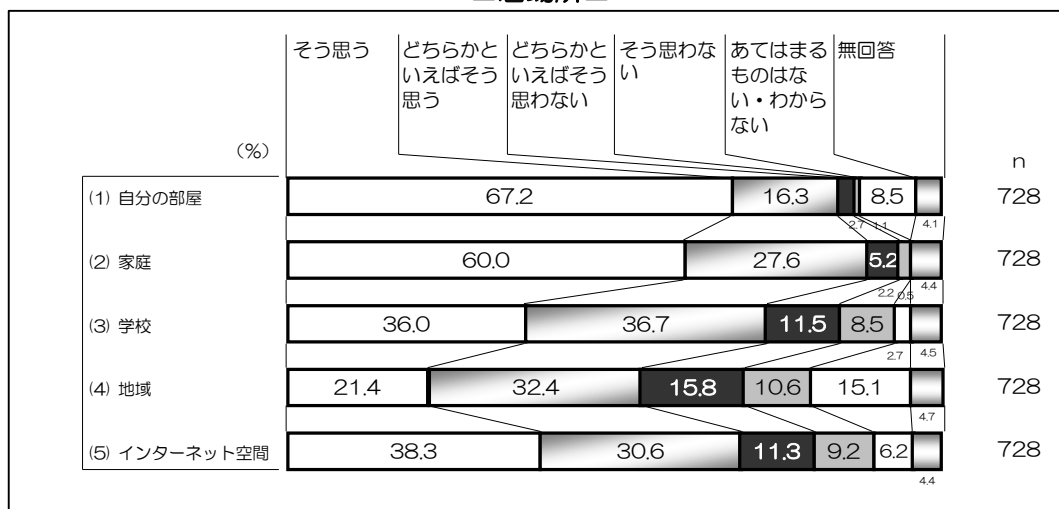
(1) 居場所

問7 次の(1)～(5)の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）になっていますか。

(1)自分の部屋、(2)家庭（親戚の家を含む）、(3)学校、(4)地域（図書館、公民館、児童館、CAPS、公園、子ども食堂など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）、(5)インターネット空間（SNS※、YouTubeやオンラインゲームなど）

全体の7割弱がインターネット空間を居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）と回答している。

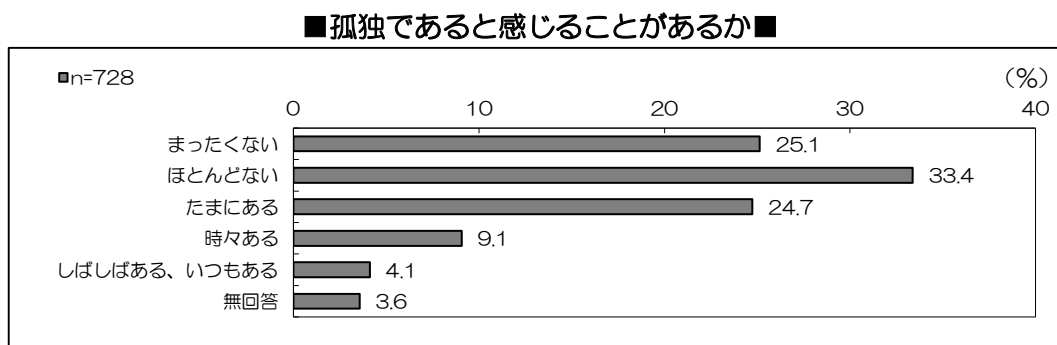
■居場所■



(2) 孤独であると感じることがあるか

問8 あなたは、自分が孤独であると感じることがありますか。

「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある、いつもある」を足し合わせると、全体の37.9%にのぼる。

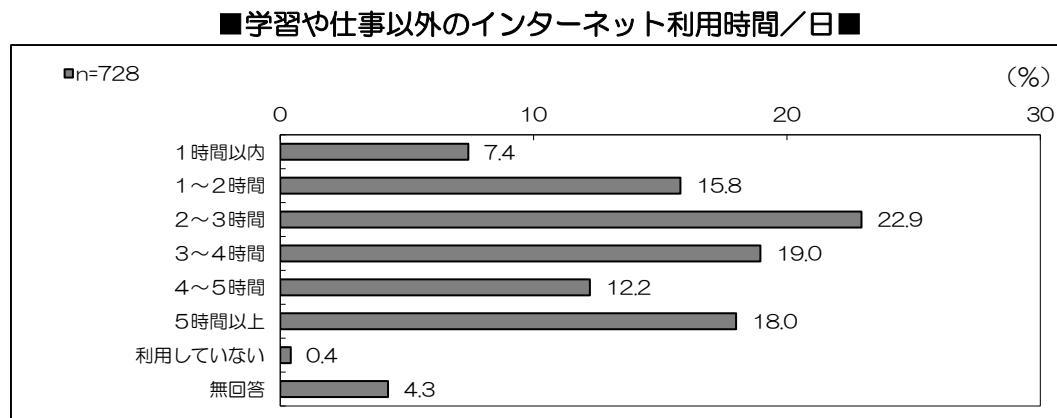


2. 他者との関わりについて

(1) 学習や仕事以外のインターネット利用時間/日

問14 あなたは、ふだん学習や仕事以外でインターネット（SNS、オンラインゲーム等を含む）を1日にどれくらい利用していますか。

“2時間以上”が全体の7割を超えており（72.1%）、うち「5時間以上」の割合が全体の18.0%にのぼる。



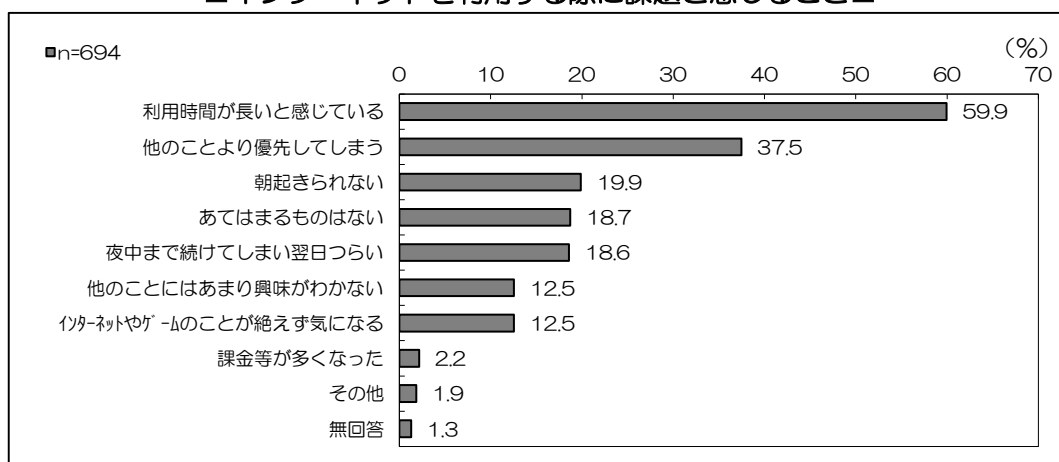
(2) インターネットを利用する際に課題と感ずること

※ “インターネットを利用している”方への質問

問 14-1 インターネット（SNS、オンラインゲーム等を含む）を利用することで、課題と感ずていることはありますか。【複数回答】

「利用時間が長いと感ずている」が59.9%で最も高い割合を占めている。

■インターネットを利用する際に課題と感ずること■



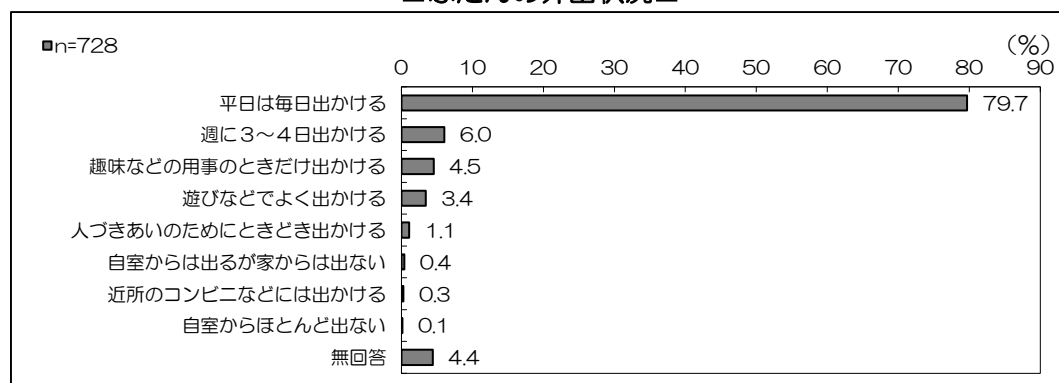
3. 父だんの外出の状況について

(1) 父だんの外出状況

問 16 あなたは父だんどのくらい外にでかけますか。

「平日は毎日出かける」が79.7%で最も高い割合を占めている。

■父だんの外出状況■



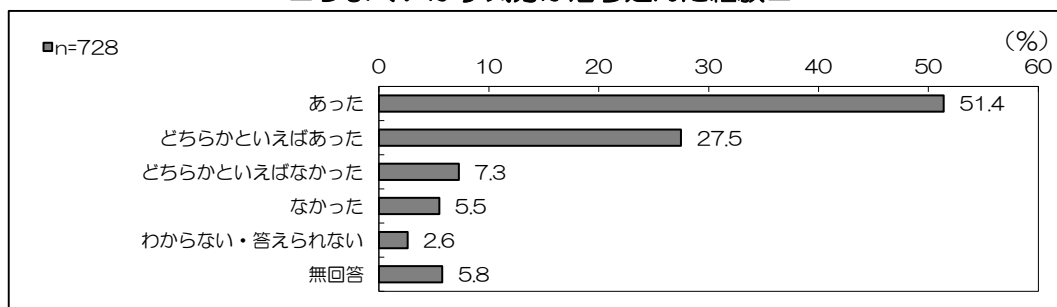
4. 落ち込んだ経験について

(1) うまくいかず気分が落ち込んだ経験

問 19 これまでに、ものごとがうまくいかず気分が落ち込んだ経験があったと思いますか。または、現在ありますか。

「あった」と「どちらかといえばあった」を足し合わせた“あった”が全体の78.9%を占める。

■うまくいかず気分が落ち込んだ経験■

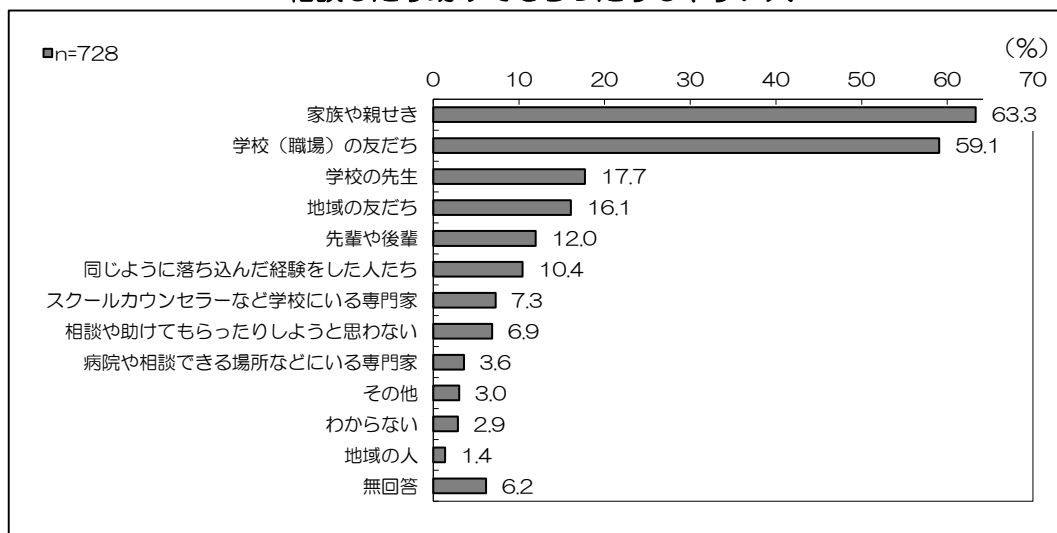


(2) 相談したり助けてもらったりしやすい人

問 20 ものごとがうまくいかず気分が落ち込んだときなどに、どのような人なら相談したり助けてもらったりしやすいと思いますか。【複数回答】

「家族や親せき」(63.3%)、「学校(職場)の友だち」(59.1%)が高い割合を占めており、回答の過半数を占める。

■相談したり助けてもらったりしやすい人■



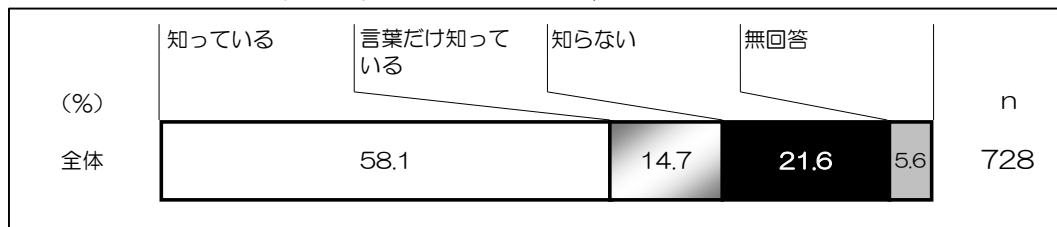
5. ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーという言葉を知っているか

問 22 ヤングケアラーという言葉を知っていますか。

「知っている」(58.1%), 「言葉だけ知っている」(14.7%), 「知らない」(21.6%)。

■ヤングケアラーという言葉を知っているか■



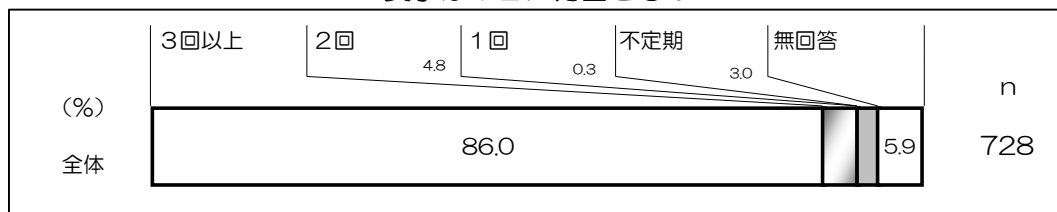
6. 日常生活について

(1) 食事は1日に何回とるか

問 24 食事は1日に何回とっていますか。

「3回以上」(86.0%), 「2回」(4.8%), 「1回」(0.3%), 「不定期」(3.0%)。

■食事は1日に何回とるか■

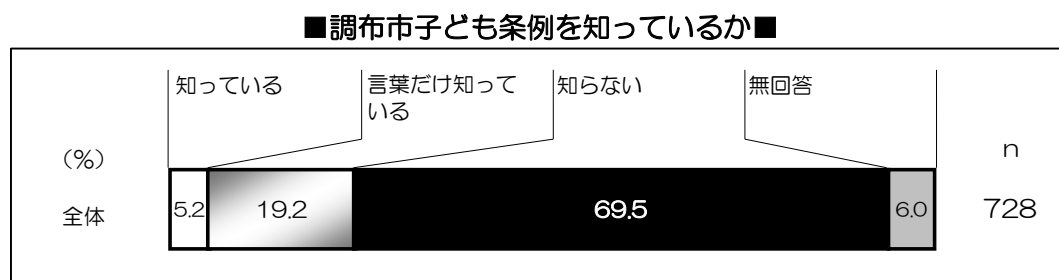


7. 調布市子ども条例及び子どもの権利について

(1) 調布市子ども条例を知っているか

問 26 あなたは、「調布市子ども条例」を知っていますか。

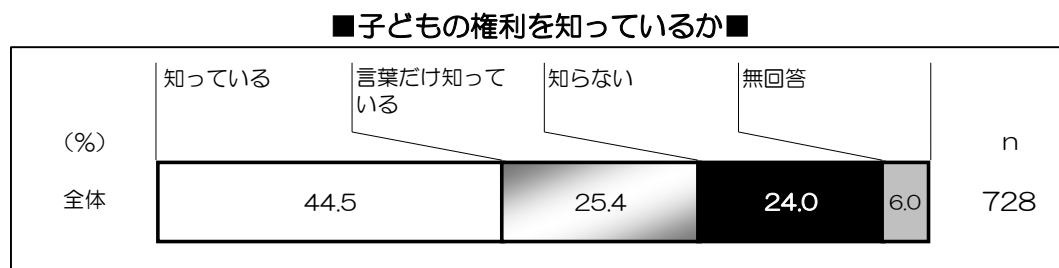
回答者の7割近くが「知らない」と回答している。



(2) 子どもの権利を知っているか

問 27 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。

回答者の半数近くが「言葉だけ知っている」、「知らない」と回答している。

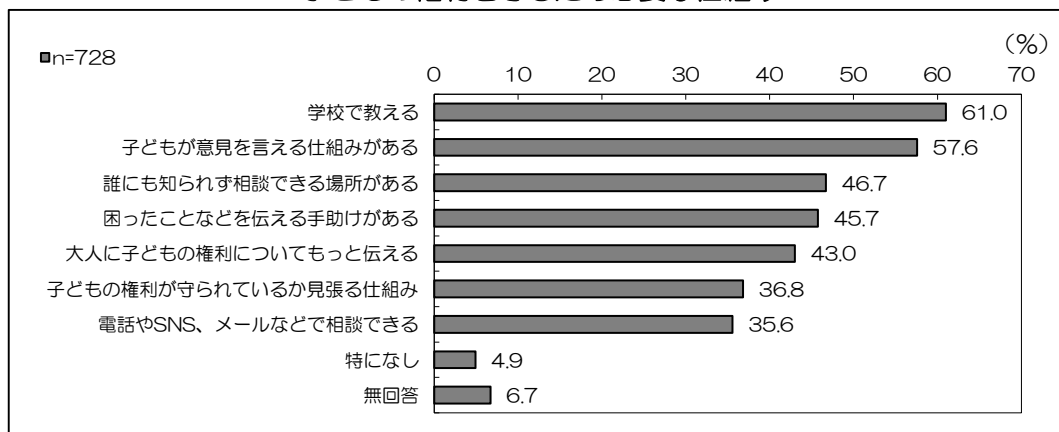


(3) 子どもの権利を守るため必要な仕組み

問 29 問 28 に挙げられたような「子どもの権利」を守るためには、どのような仕組みがあるといいと思いますか。【複数回答】

「学校で教える」(61.0%)、「子どもが意見を言える仕組みがある」(57.6%)が高い割合を占めている。

■子どもの権利を守るため必要な仕組み■



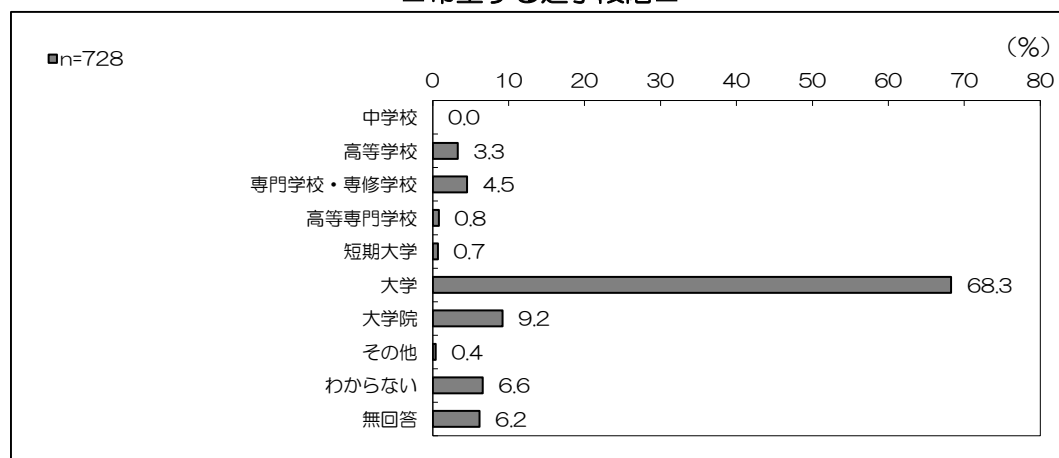
8. 将来の希望について

(1) 希望する進学段階

問 31 将来、進学するとしたら、どの段階まで進学したいと思いますか。

「大学」(68.3%)が最も高い割合を占めており、全体の7割近くは大学進学を希望している。

■希望する進学段階■



(2) 市が特に取り組むべきこと

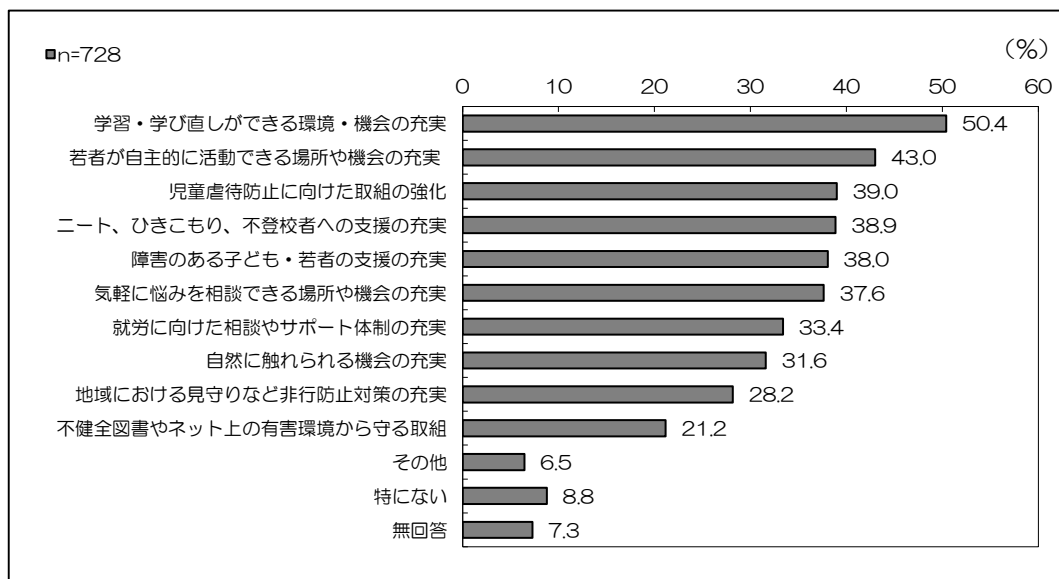
問 34 子どもや若者が希望をもてる調布市となるために、調布市が特に取り組むべきことは何だと思えますか。【複数回答】



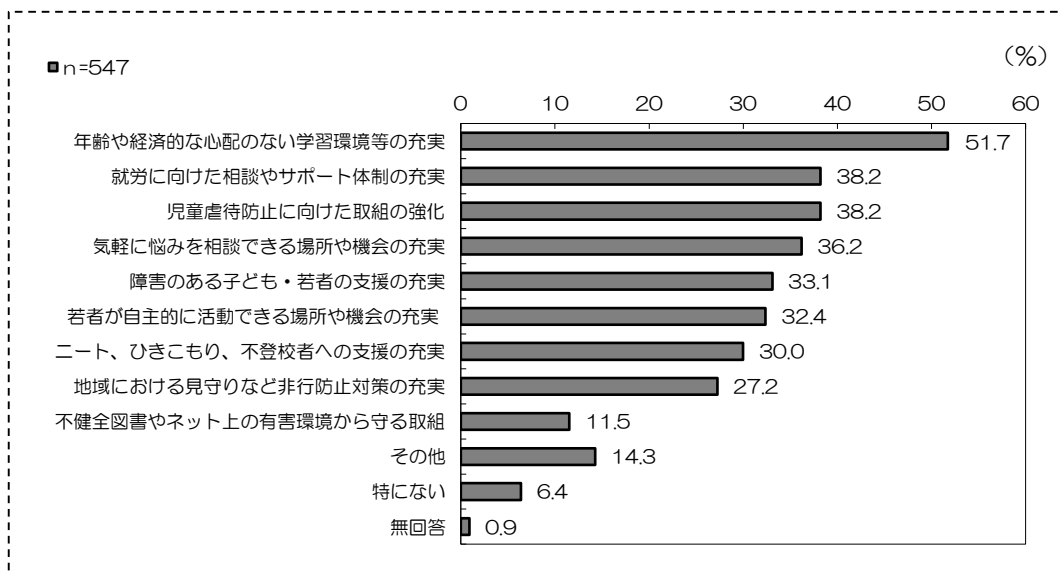
「学習・学び直しができる環境・機会の充実」(50.4%)が最も高い割合を占める。

■市が特に取り組むべきこと■

【今回調査】



【前回調査(参考)】



Ⅲ 子ども・若者支援に関するニーズ調査【高校卒業年代～39歳】

1. 人とのつながりについて

(1) 居場所

問 10 次の(1)～(6)の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所）になっていますか。

(1)自分の部屋、(2)家庭（親戚の家を含む）、(3)学校、(4)職場（過去の職場を含む）、(5)地域（図書館、公民館、公園、子ども食堂など、現在住んでいる場所やそこにある建物等）、(6)インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）



「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた“そう思う”の割合は、上位から「(1)自分の部屋」(87.2%)、「(2)家庭」(85.9%)、「(6)インターネット空間」(60.3%)、「(5)地域」(59.1%)、「(4)職場」(55.8%)、「(3)学校」(41.0%)となっている。

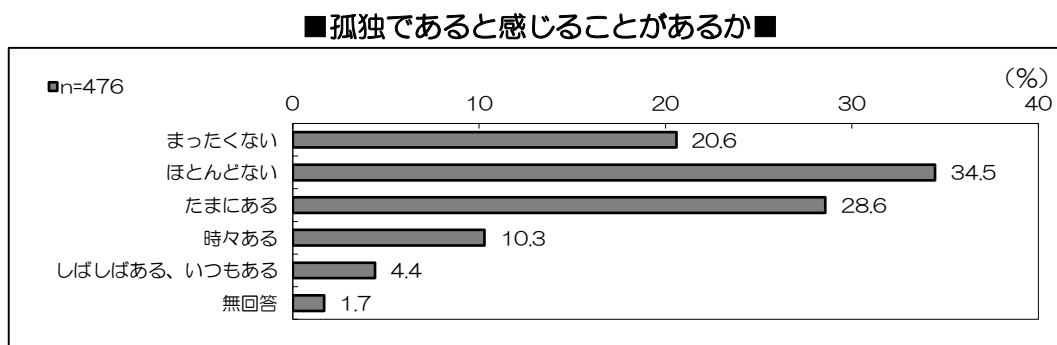
■居場所■

場所	割合 (%)						n
	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	あてはまるものはない・わからない	無回答	
(1)自分の部屋	74.2					13.0	476
(2)家庭	59.2					26.7	476
(3)学校	16.2	24.8	7.6	7.8	34.7	9.0	476
(4)職場	17.4	38.4		20.2	13.7	5.9	476
(5)地域	18.3	40.8		14.5	8.6	13.7	476
(6)インターネット空間	29.2	31.1		17.2	10.7	8.0	476

(2) 孤独であると感じることがあるか

問 11 あなたは、自分が孤独であると感じることがありますか。

「たまにある」、「時々ある」、「しばしばある、いつもある」を足し合わせると、全体の43.3%にのぼる。

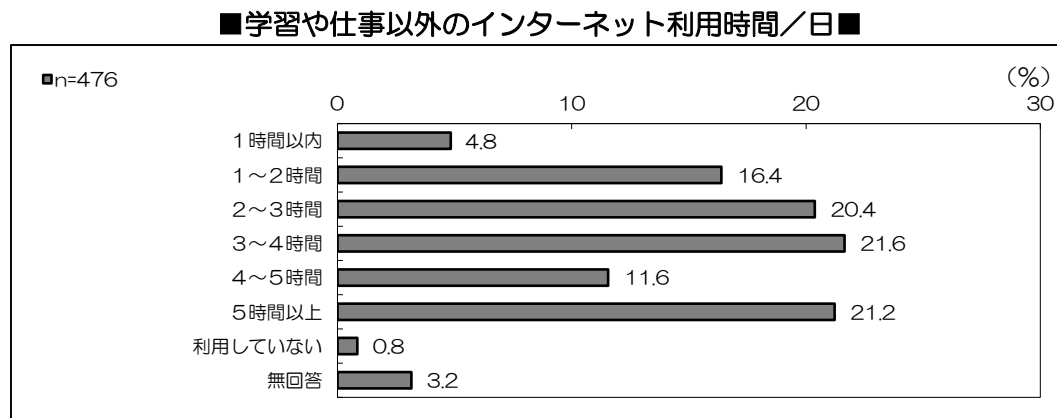


2. 普段の活動について

(1) 学習や仕事以外のインターネット利用時間/日

問 19 あなたは、普段学習や仕事以外でインターネット（SNS、オンラインゲーム等を含む）をどれくらい利用していますか。

“2時間以上”が全体の7割を超えており（74.8%）、うち「5時間以上」の割合が全体の21.2%にのぼる。



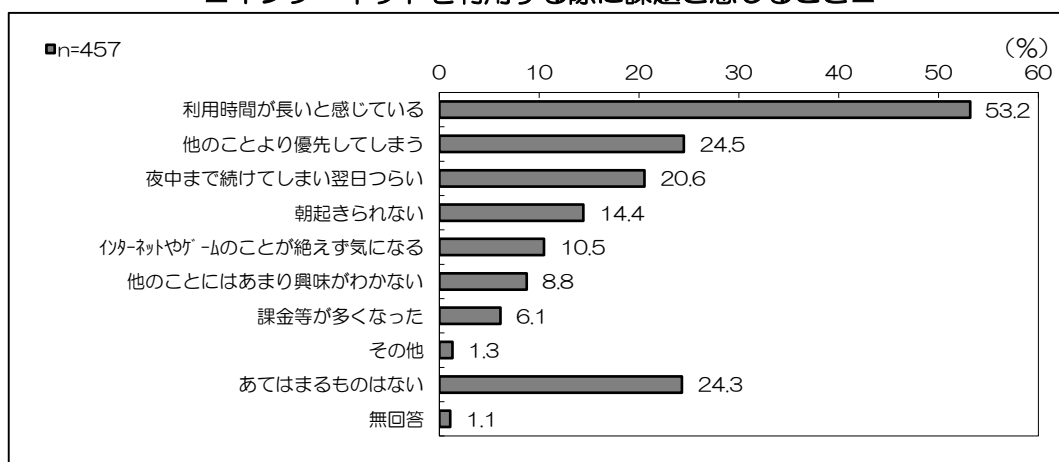
(2) インターネットを利用する際に課題と感ずること

※ “インターネットを利用している”方への質問

問 19-1 インターネット（SNS、オンラインゲーム等を含む）を利用することで、課題と感ずていることはありますか。【複数回答】

「利用時間が長いと感ずている」が53.2%で最も高い割合を占めている。

■インターネットを利用する際に課題と感ずること■

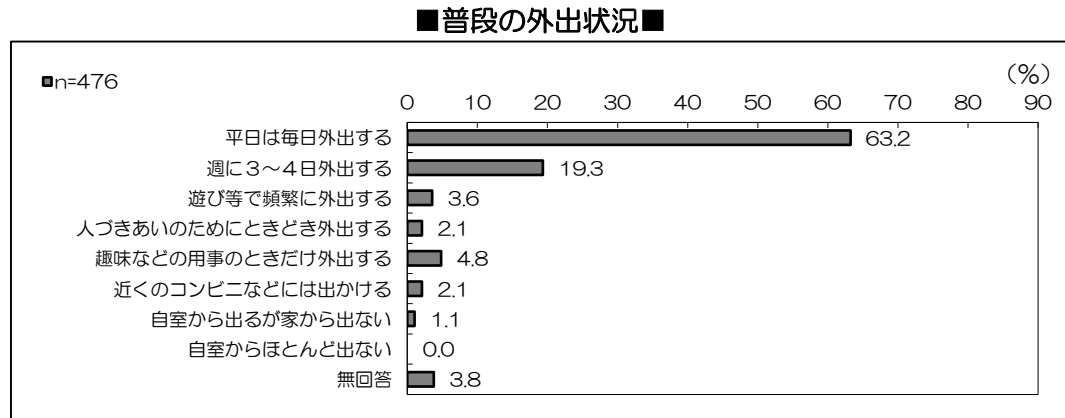


3. 普段の外出の状況について

(1) 普段の外出状況

問 21 あなたは普段どのくらい外出しますか。

「平日は毎日外出する」が63.2%で最も高い割合を占めている。

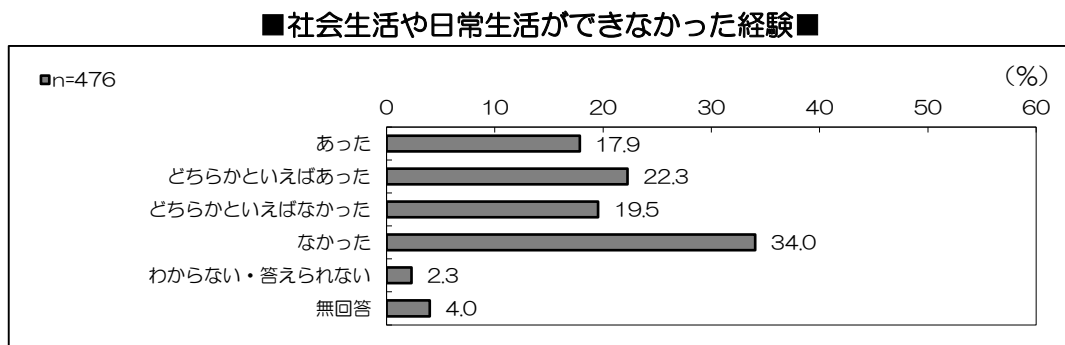


4. 日常生活等を円滑に送ることができなかった経験について

(1) 社会生活や日常生活ができなかった経験

問 23 これまでに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験はありましたか。または、現在そのような状況がありますか。

「なかった」と「どちらかといえばなかった」を足し合わせた「なかった」が全体の過半数（53.5%）を占める。

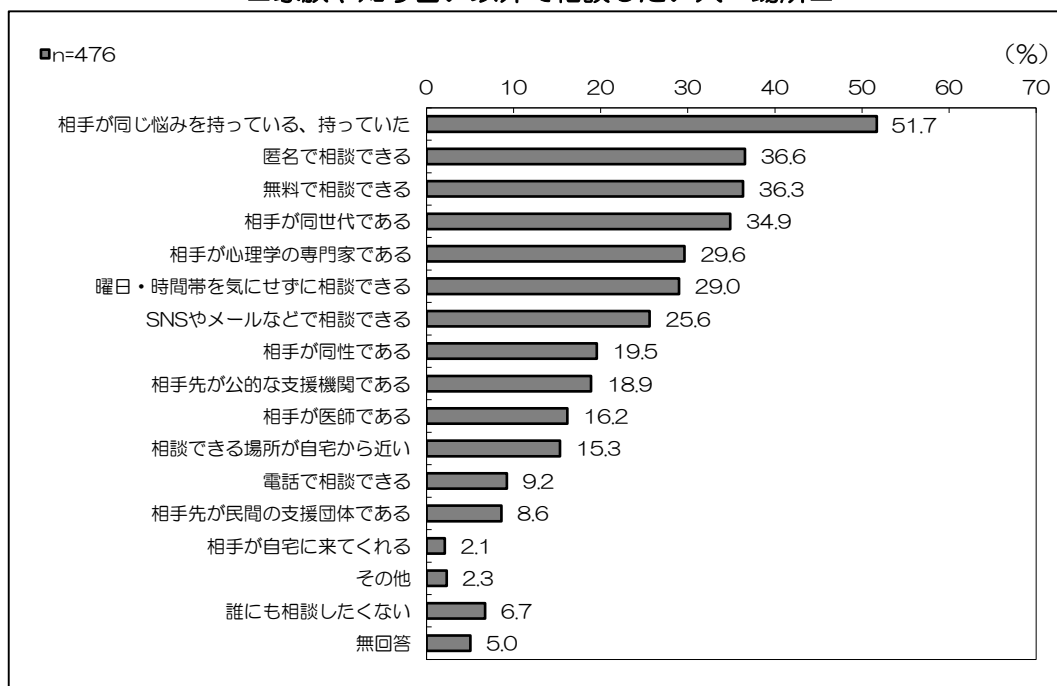


(2) 家族や知り合い以外で相談したい人・場所

問 24 社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときなどに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら相談したいと思いますか。
【複数回答】

「相手と同じ悩みを持っている、持っていた」が回答の過半数（51.7%）を占める。
「誰にも相談したくない」が6.7%。

■家族や知り合い以外で相談したい人・場所■



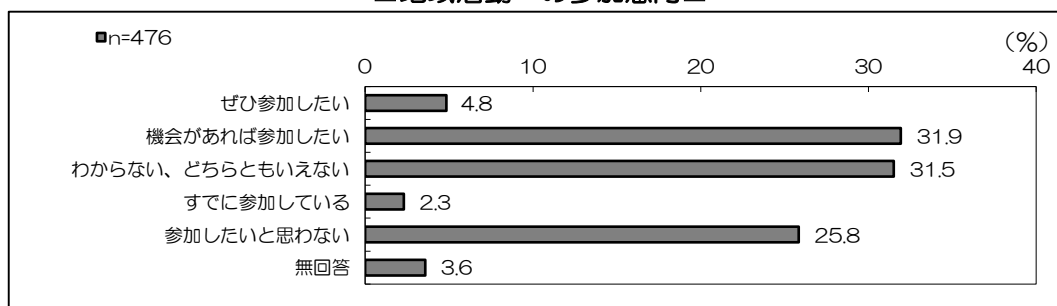
5. 地域活動への参画について

(1) 地域活動への参加意向

問 27 地域の行事やボランティア活動などに参加したいと思いますか。

「ぜひ参加したい」、「機会があれば参加したい」、「すでに参加している」を足し合わせた“参加したい（参加している）”は39.0%にのぼり、「参加したいと思わない」（25.8%）を13.2ポイント上回る。
高校卒業年代～39歳の若者世代においては、地域活動への興味・関心が比較的高い様子がうかがえる。

■地域活動への参加意向■



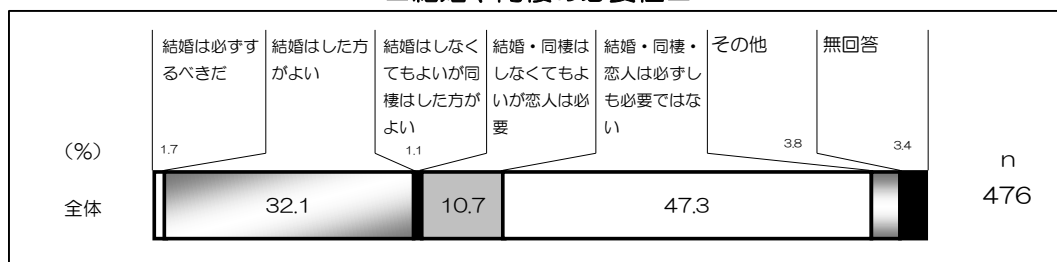
6. 結婚・子育てに関するイメージについて

(1) 結婚や同棲の必要性

問 28 結婚や同棲の必要性に対する考え方のうち、あなたの意見に最も近いものをお答えください。

「結婚は必ずするべきだ」と「結婚はした方がよい」を足し合わせた「結婚はした方がよい」は、33.8%で、回答者の3人に1人が結婚の必要性を感じている。

■結婚や同棲の必要性■



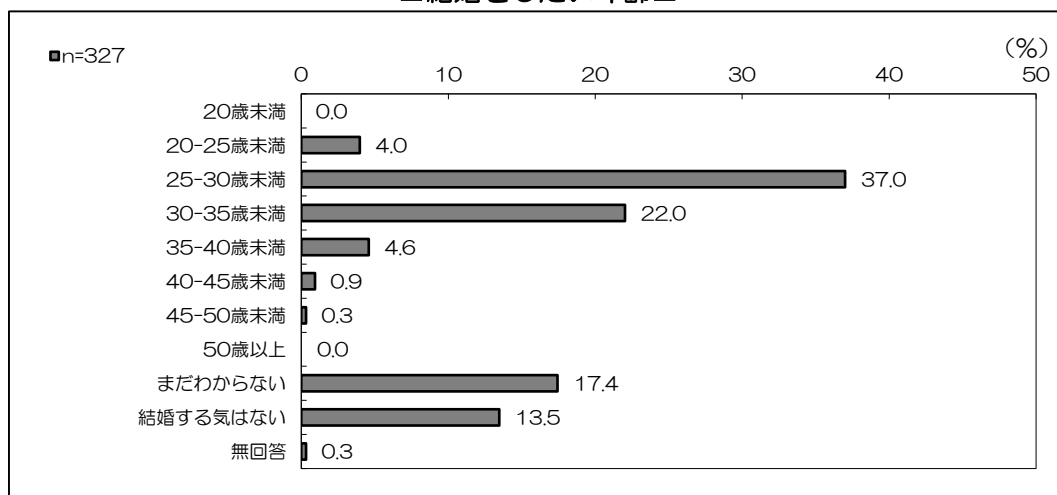
(2) 結婚をしたい年齢

※ 婚姻経験のない方への質問

問 29-1 何歳くらいで結婚したいと思いますか。

(婚姻経験のない回答者が) 結婚したい時期として答えた年齢は、25～35歳未満とする傾向が強い。

■結婚をしたい年齢■



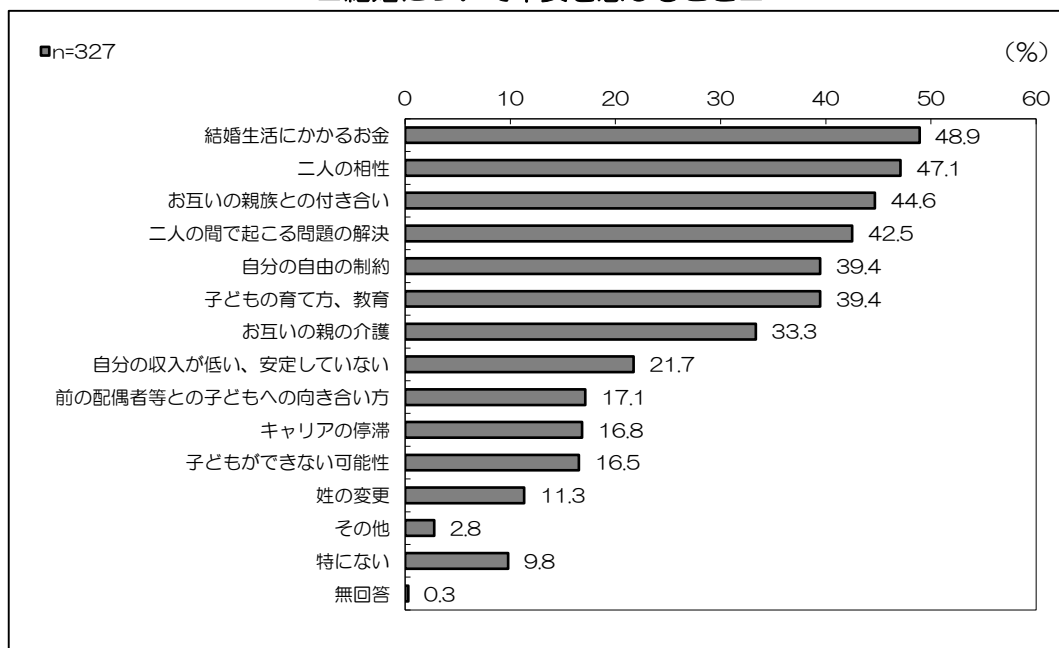
(3) 結婚について不安を感じること

※ 婚姻経験のない方への質問

問 29-2 結婚について不安を感じることは何ですか。【複数回答】

「結婚生活にかかるお金」が48.9%で最も高い割合を占めている。

■結婚について不安を感じること■

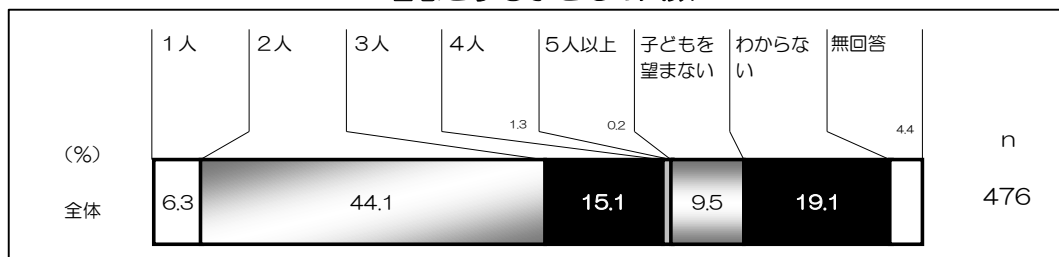


(4) 理想とする子どもの人数

問 30 理想とする子どもの人数は何人ですか。

「2人」が44.1%で最も高い割合を占めている。
「2人」以上の回答が60.7%で過半数を占める一方、「子どもを望まない」は9.5%で全体の1割弱を占める。

■理想とする子どもの人数■



7. 現在の悩みや調布市に必要な取組について

(1) 市が特に取り組むべきこと

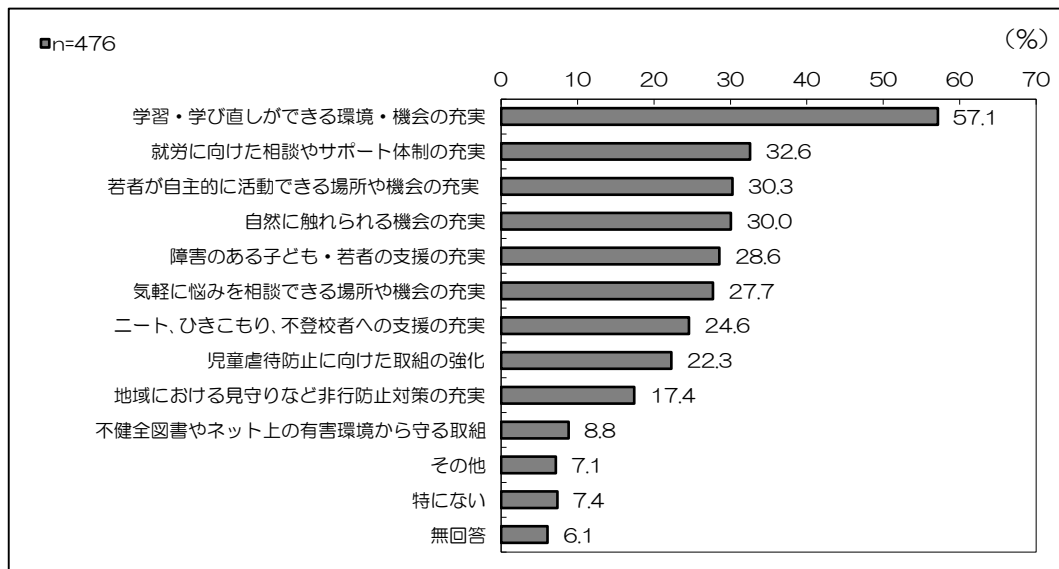
問 33 子どもや若者が希望をもてる調布市となるために、調布市が特に取り組むべきことは何だと思えますか。【複数回答】



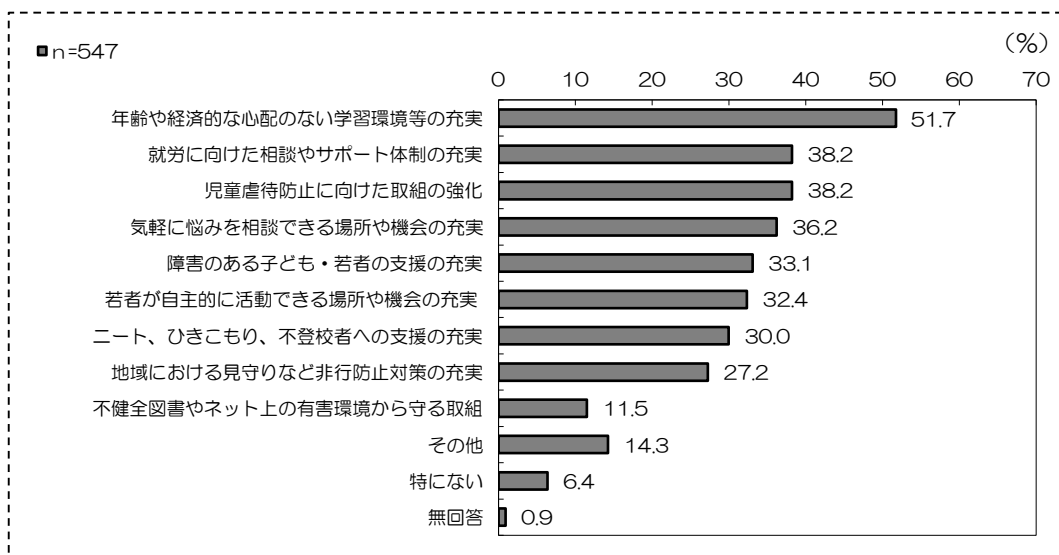
「学習・学び直しができる環境・機会の充実」が57.1%で回答の過半数を占める。

■市が特に取り組むべきこと■

【今回調査】



【前回調査（参考）】



登録番号 (刊行物番号)
2023-261

調布市子ども・若者支援に関するニーズ調査結果報告書【概要版】

発行日 令和6年3月
発行 調布市
(担当) 子ども生活部児童青少年課
〒182-8511 調布市小島町 2-35-1
Tel 042-481-7536
編集 株式会社ぎょうせい